

《 I Rに関するアンケート調査結果》

I グループインタビューによるアンケート調査

2019年11月 北海道経済部観光局

◎無作為抽出した道民（約2,500人）の中で、ご協力を承諾いただいた方々を対象にグループインタビューを行い、終了後アンケート調査を実施。

◎令和元年9月29日（日）～10月29日（火）の間に、札幌市、函館市、帯広市、旭川市、釧路市、北見市で延べ12回実施。

◎参加者の総数は85人。（参加者の全てがアンケートに回答）

1 回答者の属性

①年齢

	回答者数	(比率)
20代	5	6%
30代	12	14%
40代	24	28%
50代	22	26%
60代	12	14%
70代以上	10	12%
計	85	100%

②性別

	回答者数	(比率)
男性	44	52%
女性	38	45%
不明	3	3%
計	85	100%

③居住地域

	回答者数	(比率)
道央	47	55%
道南	3	4%
道北	20	23%
オホーツク	4	5%
十勝	9	11%
釧路・根室	2	2%
計	85	100%

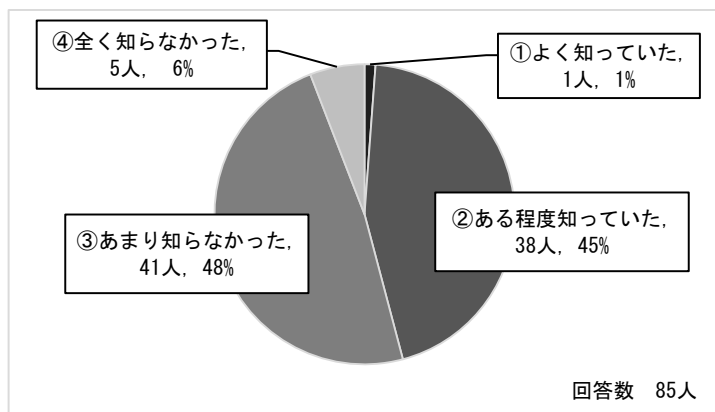
④職業

	回答者数	(比率)
会社員	28	33%
公務員・団体職員	14	16%
会社役員	6	7%
自営業	8	9%
パート・アルバイト	4	5%
学生	1	1%
専業主婦(主夫)	11	13%
無職	7	8%
その他	3	4%
不明	3	4%
計	85	100%

2 回答結果

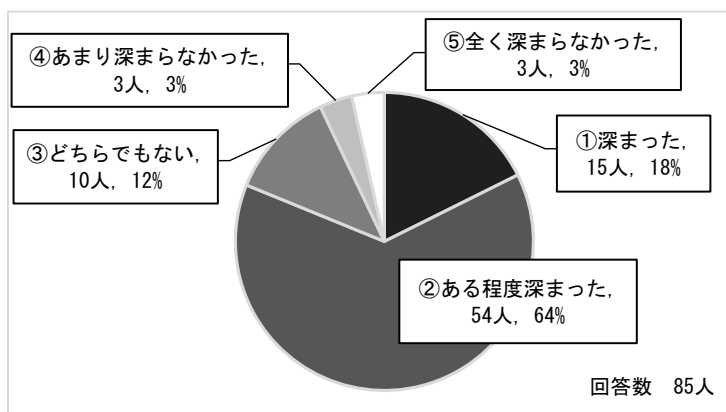
設問 1

グループインタビューに参加する前、I Rについてどの程度知っていましたか。



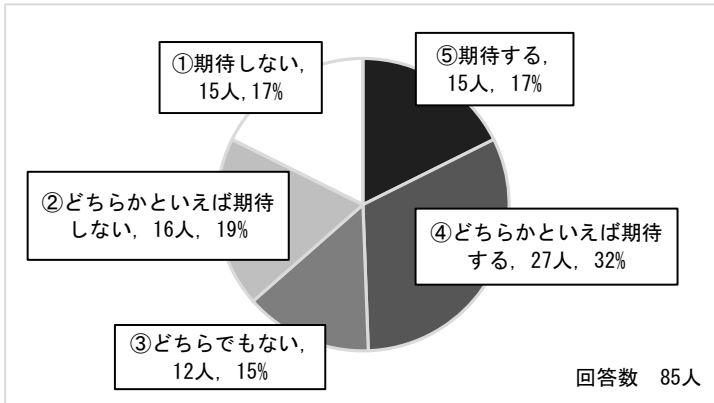
設問 2

グループインタビューに参加して、I Rに関する理解は深まりましたか。

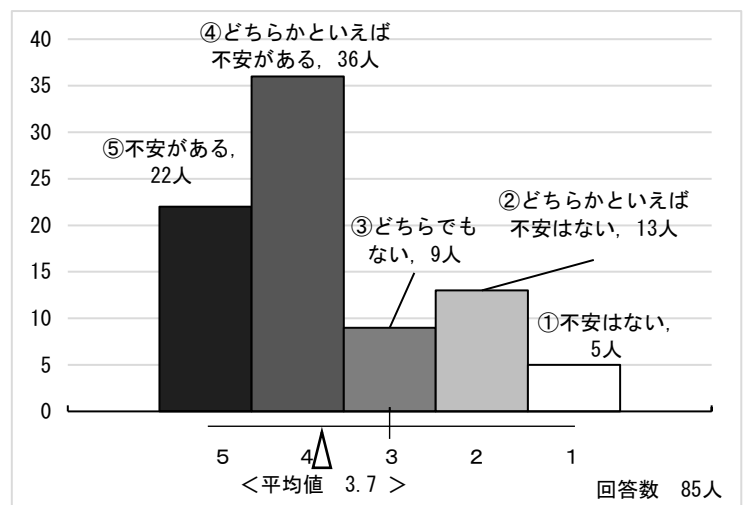
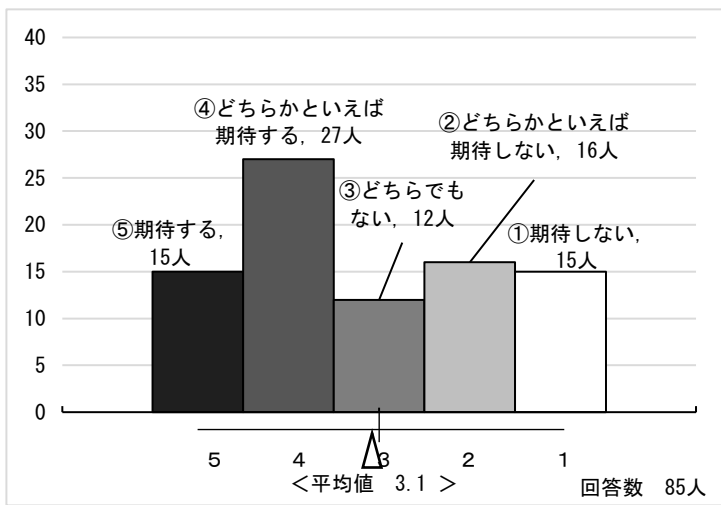
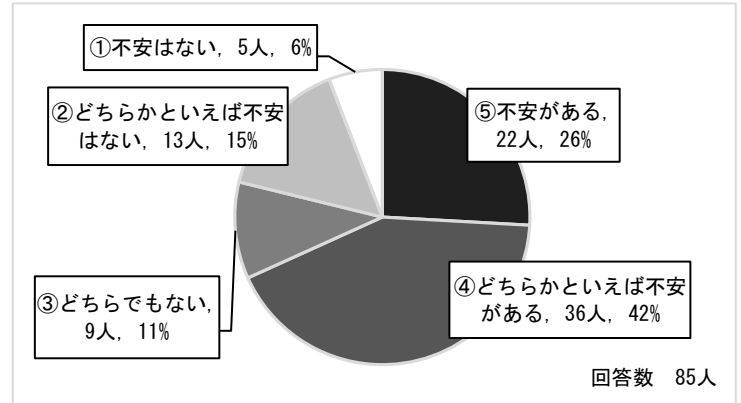


◎グループインタビューに参加する前、「I Rについて、全く知らなかった・あまり知らなかった」方が、半数以上（54%）いたが、グループインタビューに参加して「理解が深まった・ある程度深まった」方が82%となっている。

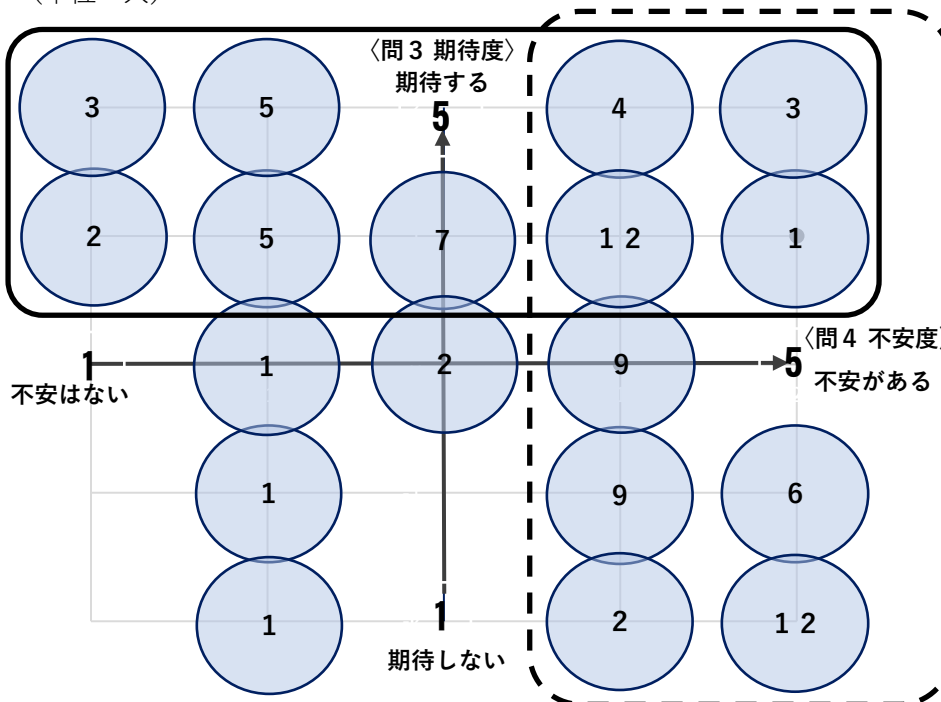
設問3 I Rの誘致に期待しますか。



設問4 I Rの誘致に不安はありますか。



(単位：人)



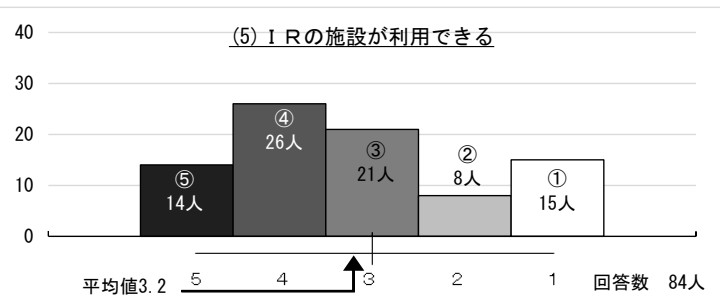
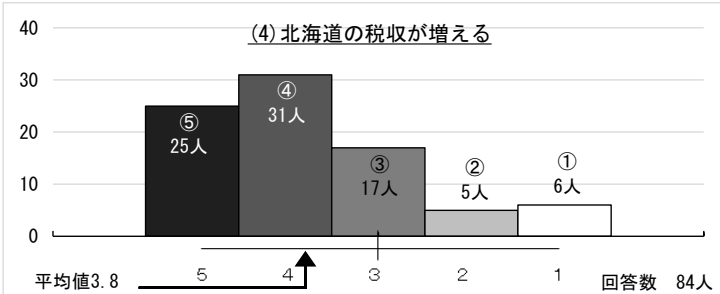
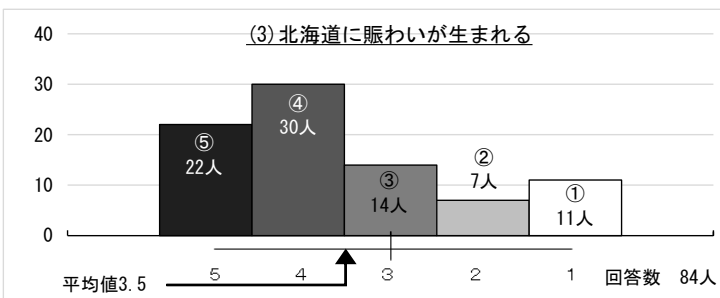
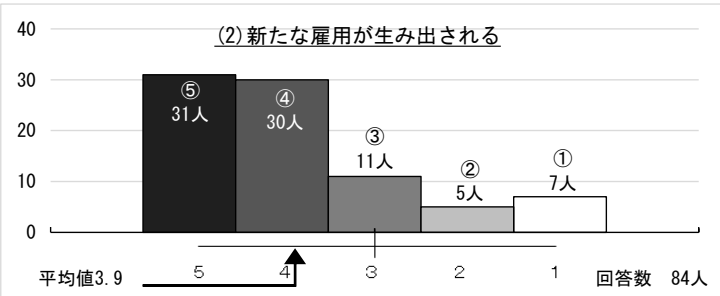
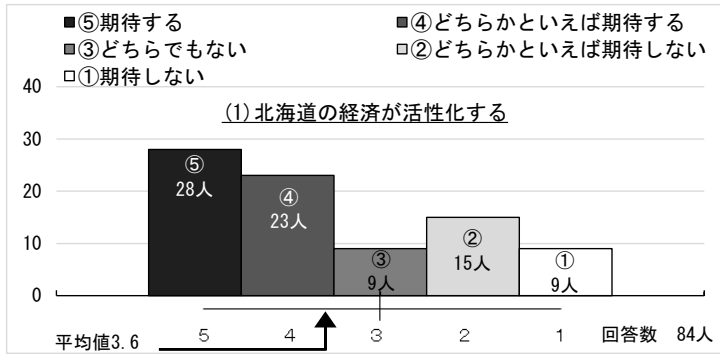
◎全体の49%の方が、「I Rの誘致に期待する・どちらかといえば期待する」と回答。

◎全体の68%の方が、「I Rの誘致に不安がある・どちらかといえば不安がある」と回答。

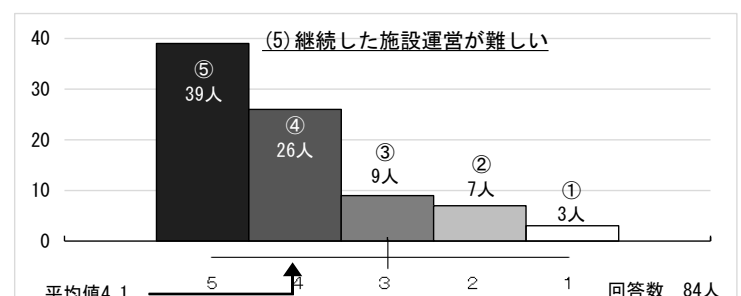
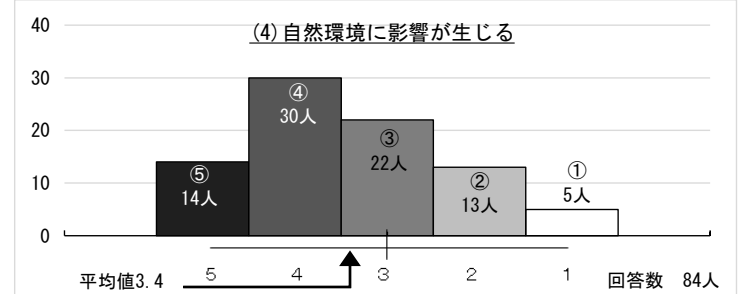
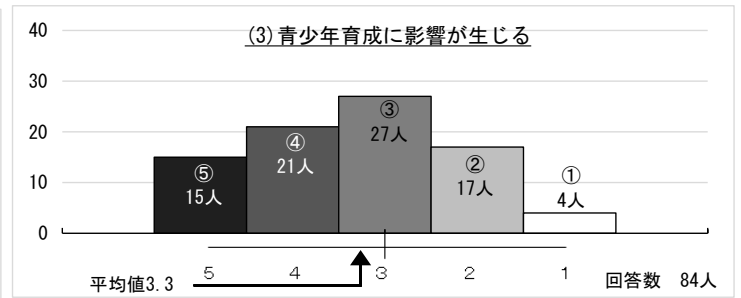
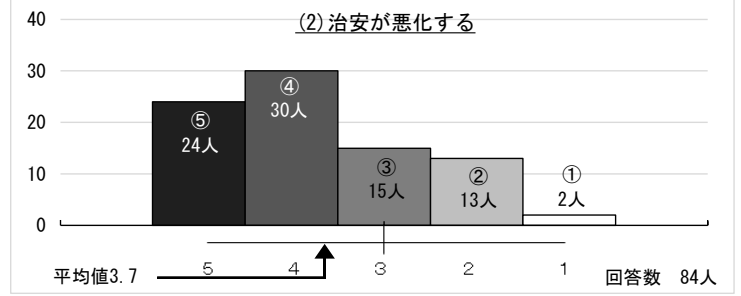
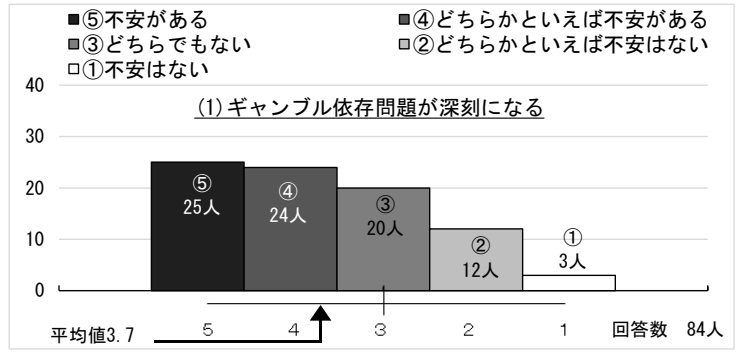
◎全体の24%の方が、I Rの誘致に期待も不安もある（どちらかといえば期待・不安も含む）と回答。

◎全体としては、「不安がある・どちらかといえば不安がある」との回答が「期待する・どちらかといえば期待する」との回答を上回っているが、期待と不安が混在している方もいることがうかがえる。

設問5 IRの誘致について、
どのようなことに期待しますか。



設問6 IRの誘致について、
どのようなことに不安がありますか。



◎ IR誘致に期待する点（⑤期待する、④どちらかといえば期待する）では、「新たな雇用創出」への期待（61人、73%）が最も多く、「北海道の税収増」（56人、67%）、「北海道に賑わいが生まれる」（52人、62%）、「北海道経済が活性化」（51人、61%）、「IR施設の利用」（40人、48%）となっている。

◎ 一方、IR誘致の不安（⑤不安がある、④どちらかといえば不安がある）としては、「継続した施設運営」への不安（65人、77%）が最多で、「治安悪化」（54人、64%）、「ギャンブル依存問題」（49人、58%）、「自然環境への影響」（44人、52%）、「青少年育成への影響」（36人、43%）となっている。

設問7 I Rへの期待や不安、その他のご意見について（自由意見記載者数 64人）

<期待などに関する主な意見>

- ◎北海道は本州に比べエンターテイメント施設が少ない。自然と共存しながら皆が健全に集える場所になるよう期待。
- ◎雇用促進につながり、若年層がとどまり、活性化されると良い。
- ◎最大の財産である自然をメインとしたI Rに期待する。
- ◎経済効果を期待している。
- ◎北海道の経済のためにも誘致してほしい。雇用も増加すると思う。
- ◎地域に根付いた施設となるよう試算し、開発してほしい。
- ◎北海道で作ってもらい、税収効果を期待したい。
- ◎道民がわくわくできる、年齢に関係なく楽しめるものを期待している。
- ◎世界に通用する質を維持向上させていく力があるのであれば、I Rに期待する。
- ◎地域活性化に期待している。
- ◎（北海道の）経済や雇用のことを考えると、このままで良いのかと思うので、期待もある。
- ◎自然だけではなく、I Rなどを整備しないと北海道が生き残れない。
- ◎IR周辺だけではなく全道で利益を受けるスキームにしてほしい。
- ◎IR事業に期待するが、治安等の対策をしっかり講じてほしい。
- ◎パシフィコ横浜や東京ビッグサイトのような大きい会議場を建設してほしい。交通網の充実やボールパークとの連携も考えれば、人の流れができる。

<不安などに関する主な意見>

- ◎他地域のI Rとの差別化ができず、経営困難にならないか不安。
- ◎北海道の魅力とI Rの魅力は違う。今ある自然などの魅力を活かしていくべき。
- ◎治安、青少年育成、ギャンブル依存の問題が心配だ。
- ◎ギャンブル依存症患者や家族の苦痛等はお金で埋められない。カジノの魔法のような魅力に抗えない人を自己責任の名の下に不幸にすることに強い抵抗感がある。
- ◎他国カジノと比べ魅力が無いので儲からないのではないか。
- ◎施設の継続した運営ができるのか（懸念がある）、継続した施設運営が難しいと思う。
- ◎北海道にI Rは必要ない。
- ◎富裕層をあてにしているようだが、富裕層は来ない。北海道にI Rは無理だ。
- ◎地道でも、北海道らしい、ものづくりや農業、食品産業に力をいれるべき。
- ◎日本は、パチンコ、競馬などギャンブル機会が多い。
- ◎全ての面ではっきりしていないので不安。できる前にもっと時間をかけて考えるべき。
- ◎細かい試算がない中で、道財政への好ましい影響があるのか判断できない。
- ◎説明を聞いて、本当に必要なのか疑問がわいた。
- ◎効果より問題点の方が大きいと感じた。
- ◎過疎や人口減少の中で、道民の負担にならないのか。

<その他>

- ◎過去に建設した大型施設の現状把握をすべき。
- ◎善し悪しは多方面から議論が必要。議論を積み重ねていくべきで、このような機会を設けるのは良いことだ。
- ◎カジノという言葉のみでマイナスイメージを抱いていたので、広報の大切さを実感した。
- ◎I R＝カジノのイメージがあるので心配の声があると思う。
- ◎話を聞いて、内容が少し理解できた。
- ◎道民がもっと自分の問題としてとらえ、たくさん議論した上で、誘致を考えてほしい。
- ◎メリット、デメリットを知ることができて良かった。
- ◎市民が正しい判断・選択できるように、客観的に、メリットやデメリットを示し、具体的解決策も交え情報を提示してほしい。

II 郵送によるアンケート調査

◎グループインタビューの実施に当たり、無作為抽出した道民（約2,500人）の中で、日程等の都合によりグループインタビューに参加できなかった方に対し、啓発用冊子とともにアンケート用紙を郵送し、調査を実施。

◎アンケート回答期限は令和元年11月11日。

◎アンケート回答者の総数は697人。

1 回答者の属性

①年齢

	回答者数	(比率)
20代	45	6%
30代	73	11%
40代	138	20%
50代	142	20%
60代	150	22%
70代以上	141	20%
不明	8	1%
計	697	100%

②性別

	回答者数	(比率)
男性	265	38%
女性	382	55%
不明	50	7%
計	697	100%

③居住地域

	回答者数	(比率)
道央	402	58%
道南	41	6%
道北	71	10%
オホーツク	32	5%
十勝	37	5%
釧路・根室	45	6%
不明	69	10%
計	697	100%

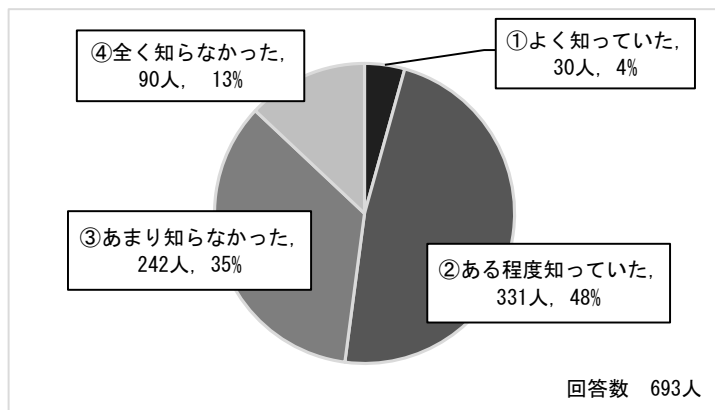
④職業

	回答者数	(比率)
会社員	164	23%
公務員・団体職員	66	9%
会社役員	27	4%
自営業	45	6%
パート・アルバイト	99	14%
学生	5	1%
専業主婦(主夫)	116	17%
無職	130	19%
その他	26	4%
不明	19	3%
計	697	100%

2 回答結果

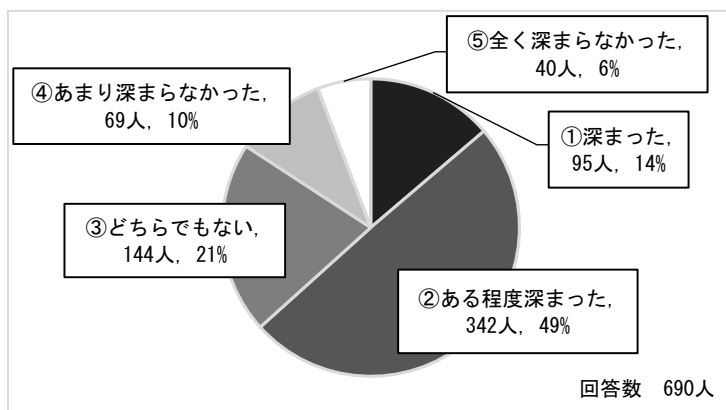
設問1

郵送した資料を読む前、IRについてどの程度知っていましたか。



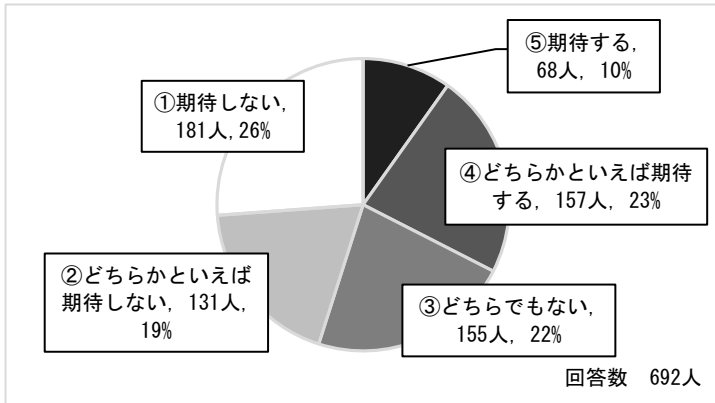
設問2

郵送した資料を読んで、IRに関する理解は深まりましたか。

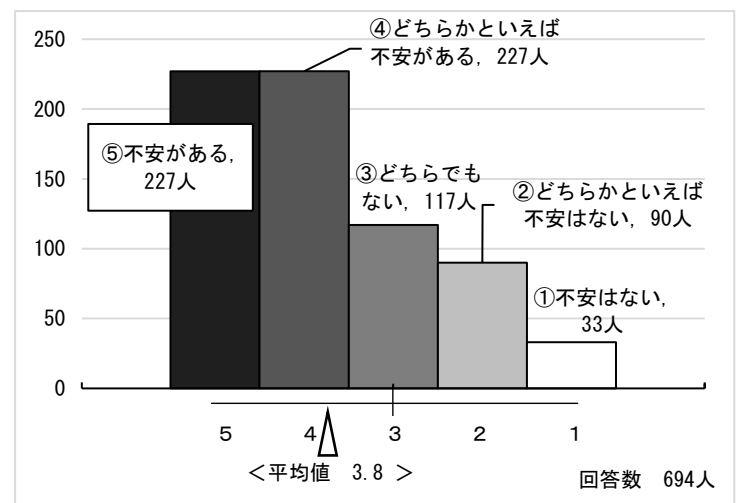
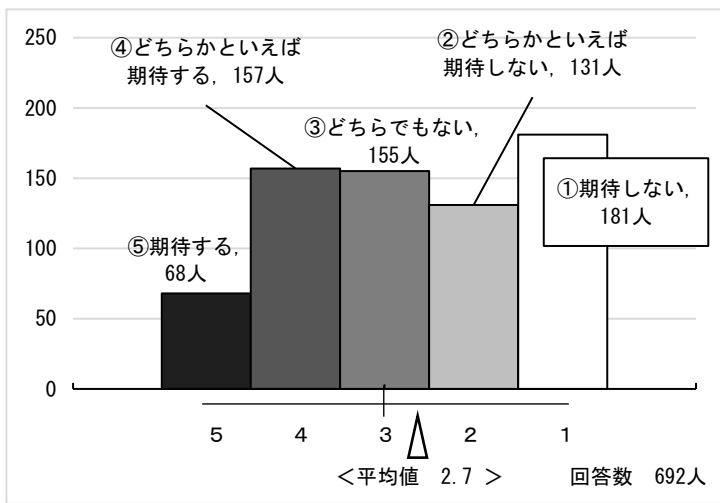
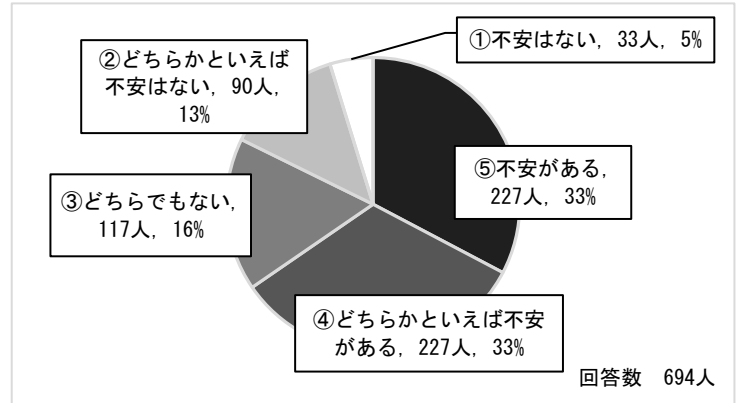


◎郵送した資料を読む前、「IRについて、全く知らなかった・知らなかった」方が半数程度（48%）いたが、郵送した資料を読んで「理解が深まった・ある程度深まった」方が63%となっている。

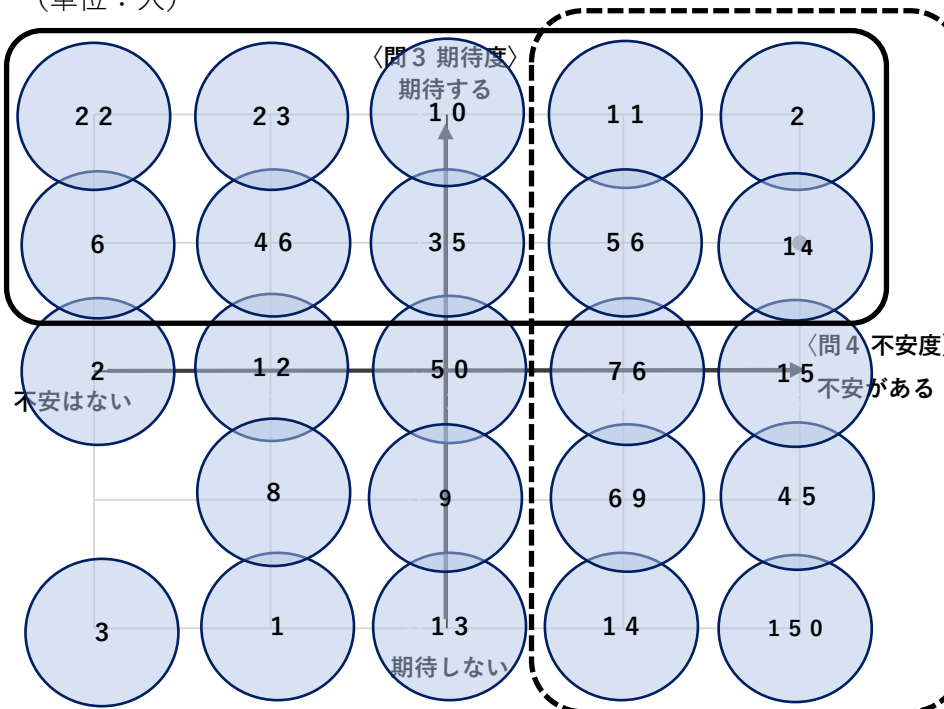
設問3 I Rの誘致に期待しますか。



設問4 I Rの誘致に不安はありますか。



(単位：人)



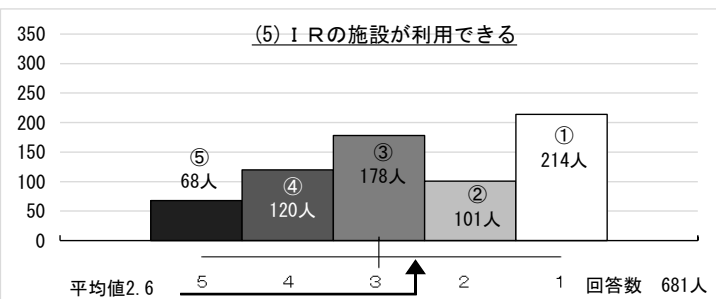
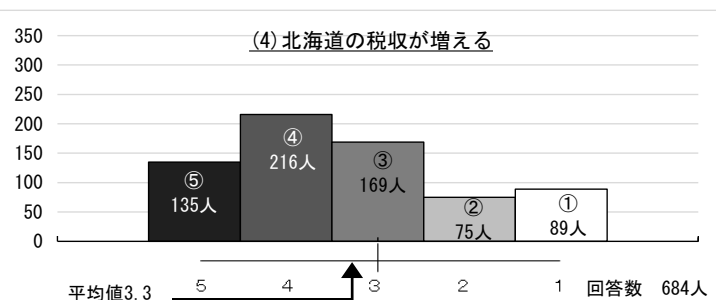
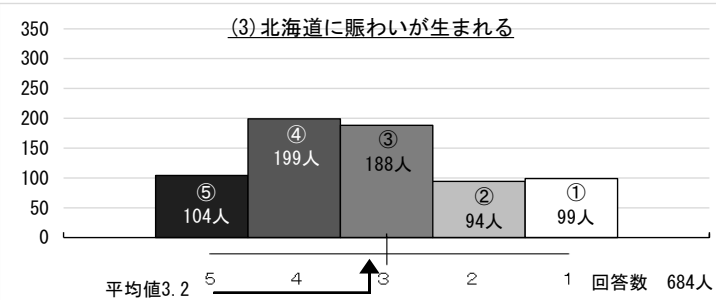
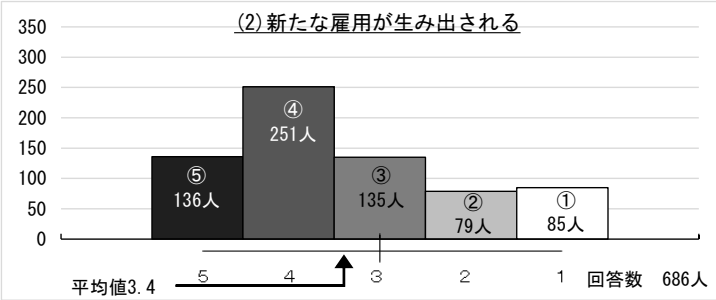
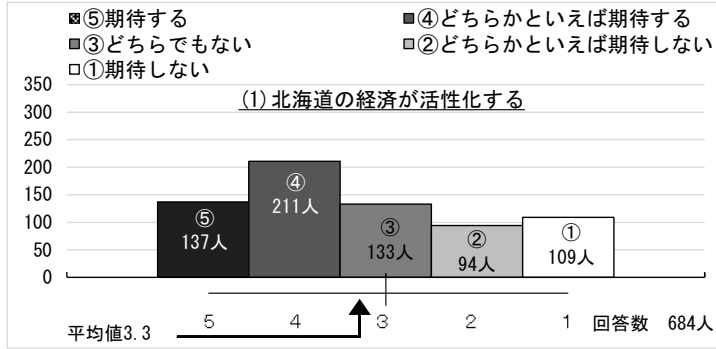
◎全体の33%の方が、「I Rの誘致に期待する・どちらかといえば期待する」と回答。

◎全体の66%の方が、「I Rの誘致に不安がある・どちらかといえば不安がある」と回答。

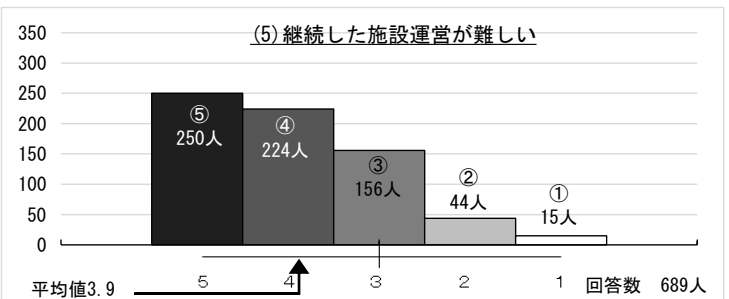
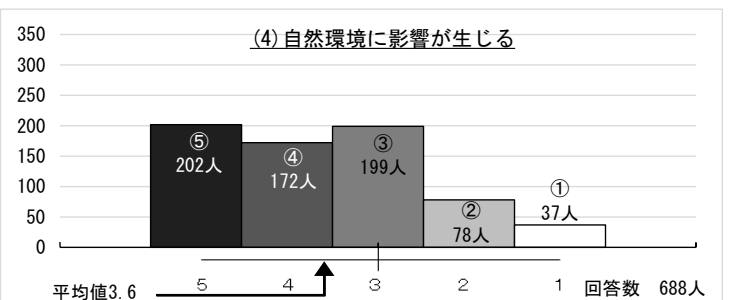
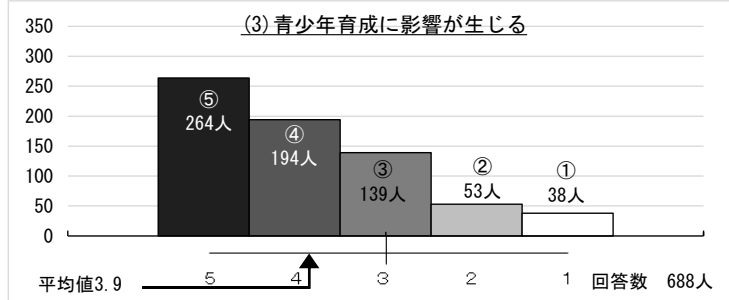
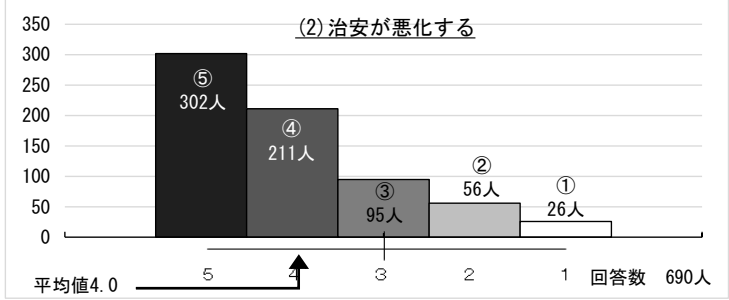
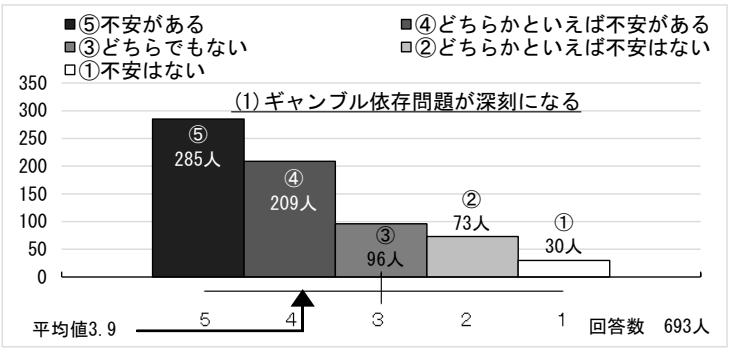
◎全体の12%の方が、I R誘致に期待も不安もある（どちらかといえば期待・不安も含む）と回答。

◎全体としては、「不安がある・どちらかといえば不安がある」との回答が「期待する・どちらかといえば期待する」との回答を上回っている。

設問5 IRの誘致について、
どのようなことに期待しますか。



設問6 IRの誘致について、
どのようなことに不安がありますか。



◎ IR誘致に期待する点（⑤期待する、④どちらかといえば期待する）では、「新たな雇用創出」への期待（387人、56%）が最も多く、「北海道の税収増」（351人、51%）、「北海道経済の活性化」（348人、51%）、「北海道に賑わいが生まれる」（303人、44%）、「IR施設の利用」（188人、28%）となっている。

◎ 一方、IR誘致の不安（⑤不安がある、④どちらかといえば不安がある）としては、「治安悪化」への不安（513人、74%）が最多で、「ギャンブル依存問題」（494人、71%）、「継続した施設運営」（474人、69%）、「青少年育成への影響」（458人、67%）、「自然環境への影響」（374人、54%）となっている。

設問7 I Rへの期待や不安、その他のご意見について (自由意見 310人)

<期待などに関する主な意見>

- ◎北海道に賑わいと若者の雇用が生まれ、北海道が元気になると思うので、是非実現してほしい。
- ◎エンターテイメントや文化芸術等の発展につながると思うので賛成だ。
- ◎I R誘致は不安もあるが、次世代のために未来に向け必要なのではないかと思う。
- ◎I R開業前にも雇用の増加が見込める。将来的に拡大していけるよう長期間の計画を望む。
- ◎I R誘致によりインフラを整備し、北海道を応援してくれるサポーターやリピーターを増やしてほしい。
- ◎カジノばかり注目されているが、エンターテイメント施設等が北海道にできることは道民として誇らしい。
- ◎バリアフリー施設を望む。
- ◎I Rによって北海道が経済的に少しでも豊かになれば良いと思う。
- ◎ギャンブルというマイナスイメージから入りすぎている。メリット・デメリットはあるがこれからの北海道経済に必要。
- ◎国内最大3箇所であれば、マイナス面は国道市がしっかりと対応するはず。安定財源を確保し道民に還元してほしい。
- ◎東京等に比べ北海道には大きなリゾート施設が少ないので是非勝ち取ってほしい。
- ◎北海道に少ないスポーツ施設も一緒に設置すると道民の趣味の幅が広がる。家族で楽しめるようにや、治安悪化等、あらゆる状況の対策をしてから行ってほしい。北海道を盛り上げるため誘致してほしい。
- ◎雇用が少ない北海道に良い風を送ると感じる。
- ◎インバウンドが多いのでI Rがあれば北海道にとってプラスになる。道民はあまり利用しない気がする。
- ◎新たな雇用創出に期待する一方で、人手不足深刻化を懸念。自然環境を活かし地元民に親しまれる施設であれば賛成。

<不安などに関する主な意見>

- ◎I R誘致で景気回復を実感する瞬間はあると思うが継続性に不安あり。誘致よりもやるべきことがあるのでは。
- ◎ウトナイ湖、自然への影響が心配。
- ◎日本や北海道はI Rに頼らずとも素晴らしい文化の財産がある。日本の文化で勝負すべき。
- ◎カジノ抜きのリゾートは賛成するが、I Rは絶対に反対。他に知恵を絞るべき。北海道の魅力をそがないでほしい。
- ◎継続性に関し不安。ソフト面の充実がなければ客は来ないと思う。苦小牧は難しい。
- ◎維持が難しく、破綻後の経済の冷え込み、失業率上昇、治安悪化という負のスパイラルを懸念。
- ◎パンフには良いことしか書いていないが悪い面もあるはず。一時的盛り上がりで長く運営していけるか不安。
- ◎開業して一時は良くとも継続するのかを懸念。運営方法、不安の払拭が必要で、このままでは賛成できない。
- ◎カジノ施設について社会秩序の乱れや治安悪化に不安を感じる。経済効果についてカジノがなくても良いとの観点で考えてもいいのではないか。
- ◎人口減少の中、維持が大変。治安悪化を懸念。
- ◎ギャンブル依存症問題が一番心配。経済優先で始めても後でつげが回るのでは、子供達に負の財産を残す。I R反対。
- ◎とても賛同できない。北海道活性化等をもっと健全な別の分野で実現すべき。
- ◎北海道らしく自然を活かした施設、女性や高齢者、障がい者の雇用環境整備に税金を活かしてほしい。
- ◎一度建ったものは無くせない。北海道はI Rが無くても観光資源いっぱいの魅力ある土地。本当にこれで良いのか。
- ◎包括的なギャンブル依存症対策等を行わなければならない事業をなぜ解禁するのか疑問。

<その他>

- ◎ギャンブル依存問題にきちんと着手してほしい。
- ◎期待は持つが、身近に感じられない。
- ◎I Rの税収に期待せず、今の税の使い方をもっと正しくしたい。
- ◎他国との比較は文化習慣の差異があり納得する資料とならない。
- ◎デメリットの対策を常に協議し、その都度道民に伝え対応してほしい。
- ◎周辺住民との説明会等、生活に影響がないようにしっかり対策を検討してほしい。

Ⅲ 地域説明会におけるアンケート調査

◎令和元年10月9日（水）～10月25日（金）の間に、全道5カ所（札幌市、函館市、旭川市、苫小牧市、釧路市）で順次、地域説明会を開催し、参加者に対してアンケート調査を実施。

◎回答者の総数は291人。（参加者の総数は327人。）

1 回答者の属性

①年齢

	回答者数	(比率)
20代	8	3%
30代	32	11%
40代	72	25%
50代	74	25%
60代	64	22%
70代以上	38	13%
不明	3	1%
計	291	100%

②性別

	回答者数	(比率)
男性	206	71%
女性	63	22%
不明	22	7%
計	291	100%

③会場別回答数

	参加者数	回答者数	(比率)
札幌会場	107	93	32%
函館会場	8	8	3%
旭川会場	14	14	5%
苫小牧会場	173	154	53%
釧路会場	25	22	7%
計	327	291	100%

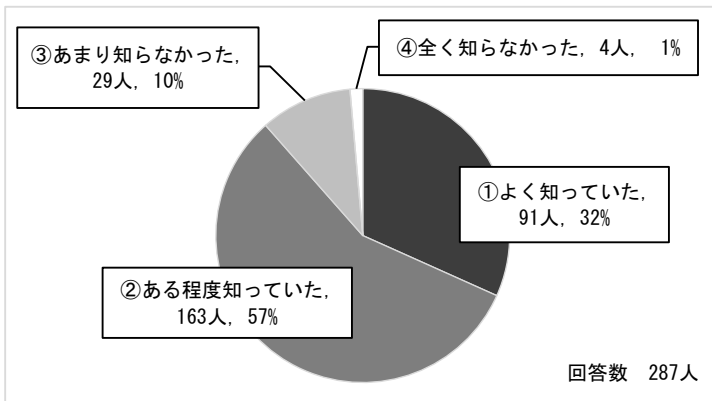
④職業

	回答者数	(比率)
会社員	133	46%
公務員・団体職員	30	10%
会社役員	36	12%
自営業	16	6%
パート・アルバイト	10	3%
学生	0	0%
専業主婦(主夫)	17	6%
無職	32	11%
その他	6	2%
不明	11	4%
計	291	100%

2 回答結果

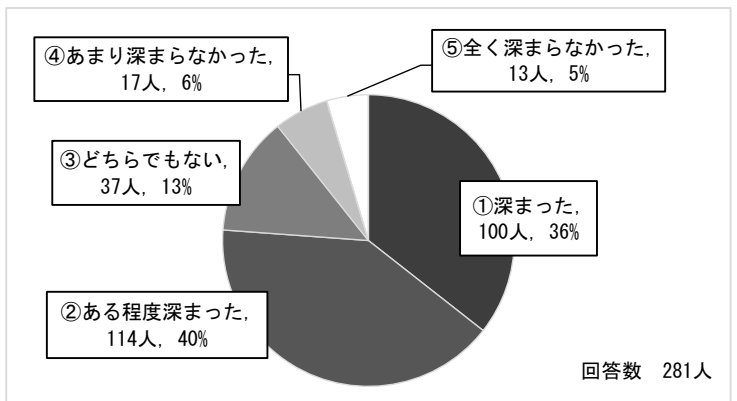
設問1

地域説明会に参加する前、IRについてどの程度知っていましたか。



設問2

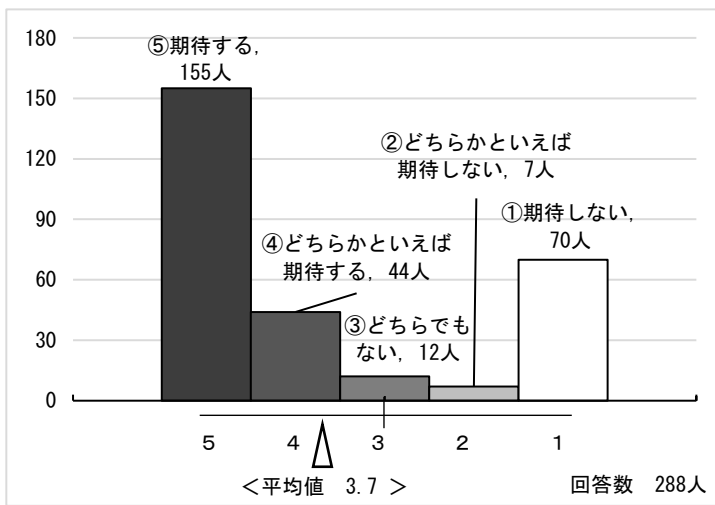
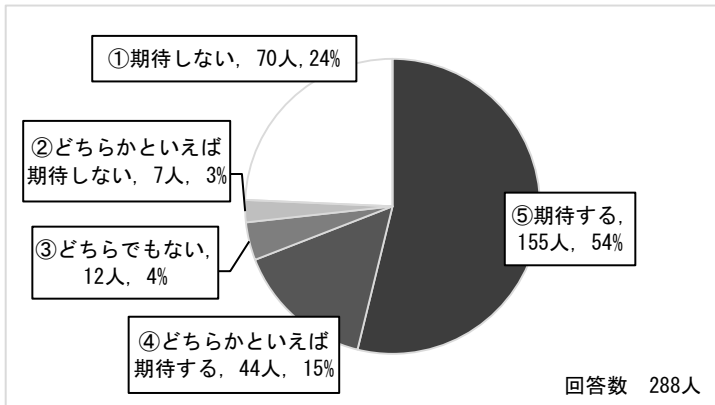
地域説明会に参加して、IRに関する理解は深まりましたか。



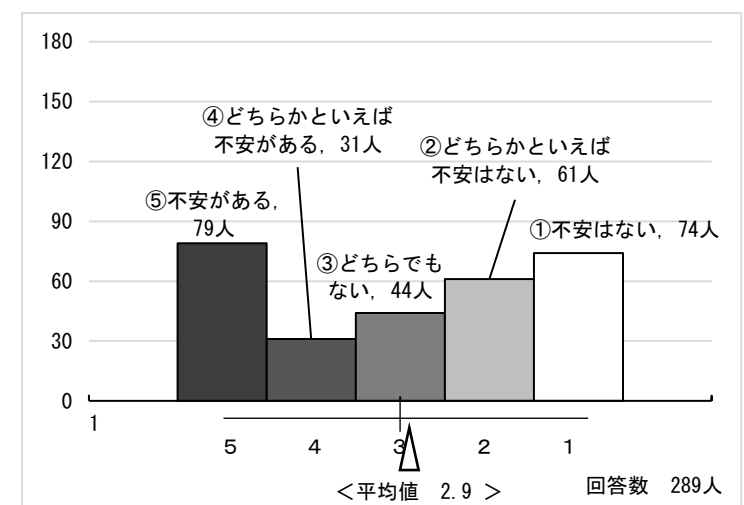
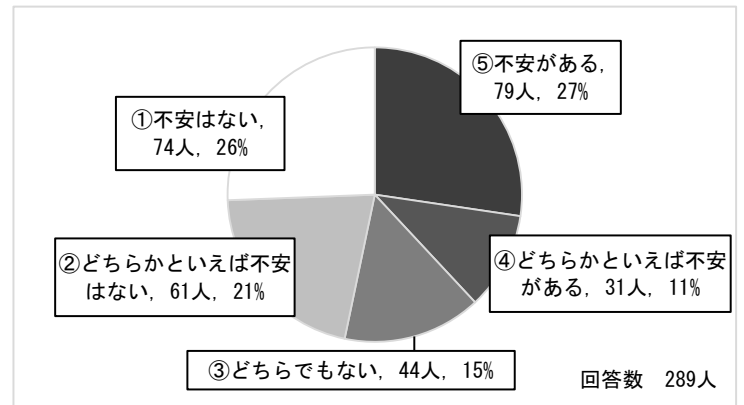
◎説明会に参加する前、「IRについて、全く知らなかった・知らなかった」方が11%、説明会に参加して、「理解が深まった・ある程度深まった」方が76%となっている。

◎説明会の参加者は、もともとIRへの関心度が高い方が多いことが想定される。

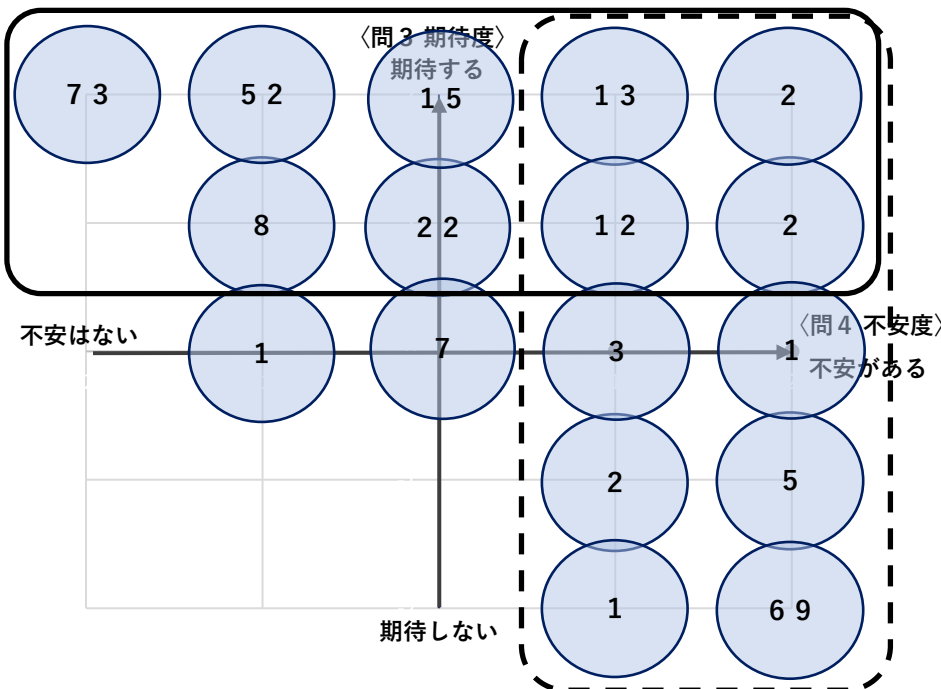
設問3 IRの誘致に期待しますか。



設問4 IRの誘致に不安はありますか。



(単位：人)



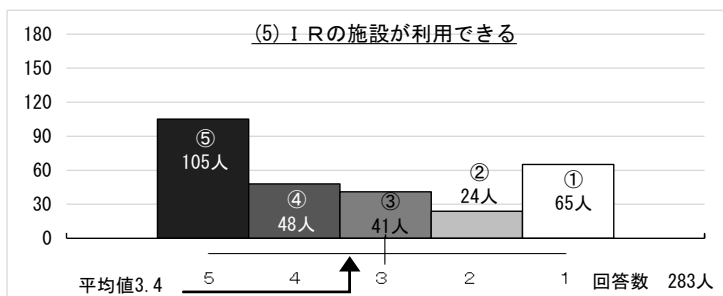
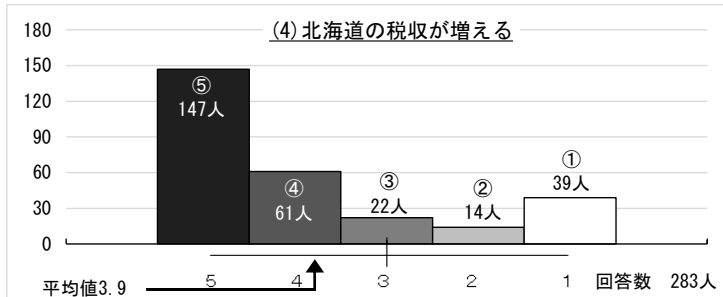
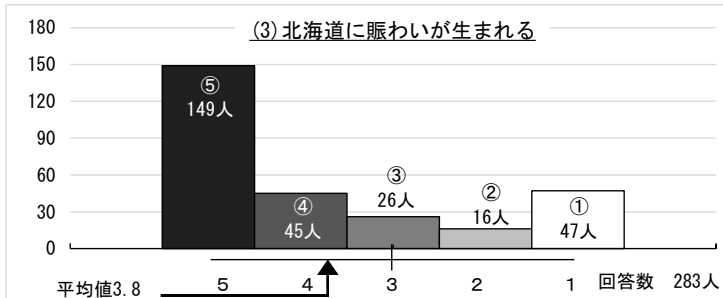
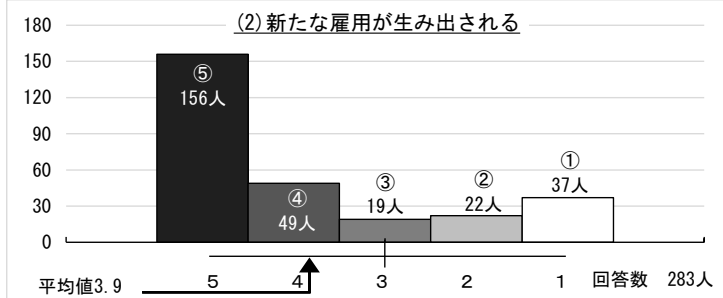
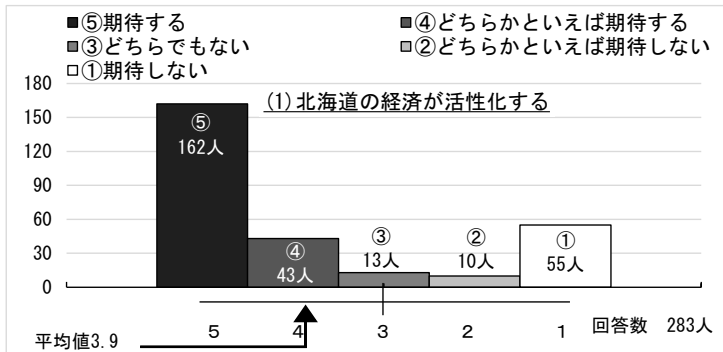
◎全体の69%の方が、「IRの誘致に期待する・どちらかといえば期待する」と回答。

◎全体の38%の方が、「IRの誘致に不安がある・どちらかといえば不安がある」と回答。

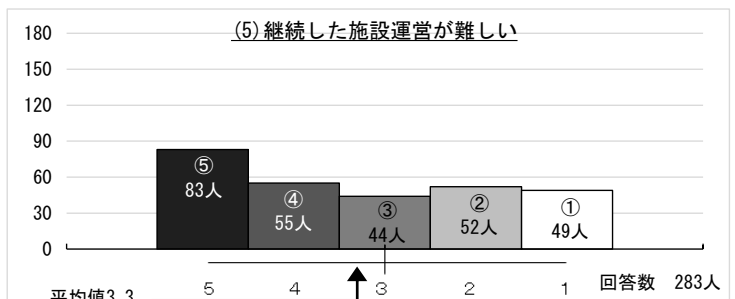
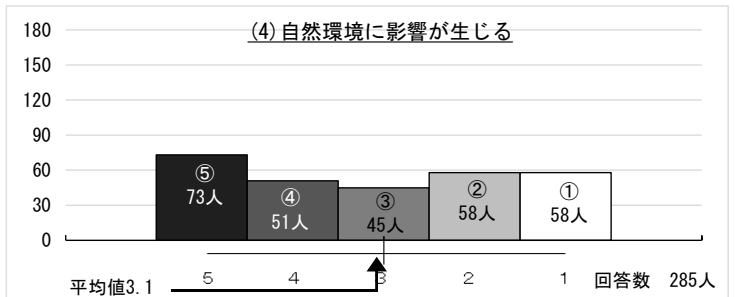
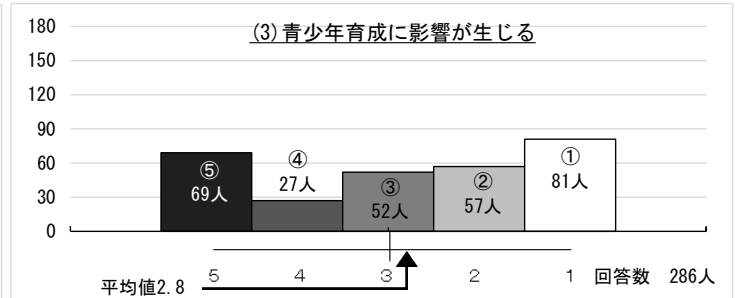
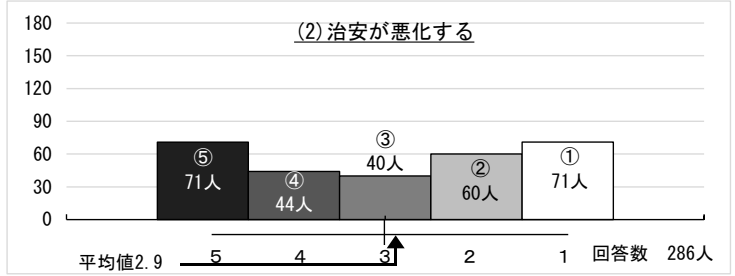
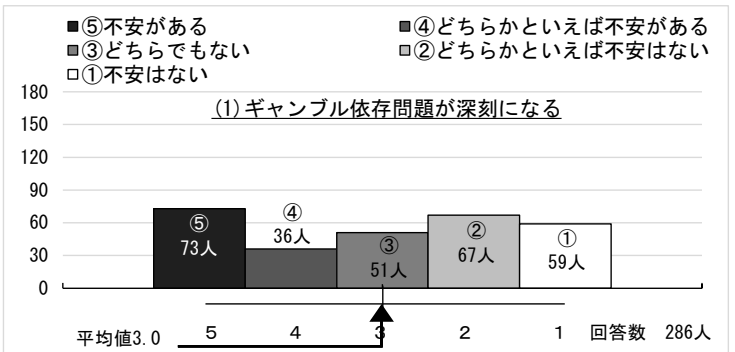
◎全体の10%の方がIRの誘致に期待も不安もある（どちらかといえば期待・不安も含む）と回答。

◎全体としては、「期待する・どちらかといえば期待する」との回答が「不安がある・どちらかといえば不安がある」との回答を上回っているが、「期待」と「不安」それぞれ両極の考えを持っている方が多いことがうかがえる。

設問5 I Rの誘致について、
どのようなことに期待しますか。



設問6 I Rの誘致について、
どのようなことに不安がありますか。



◎ I R誘致に期待する点（⑤期待する、④どちらかといえば期待する）では、「北海道の税収増」への期待（208人、73%）が最も多く、「北海道経済活性化」、「新たな雇用創出」（ともに205人、72%）、「北海道に賑わいが生まれる」（194人、69%）、「I R施設の利用」（153人、54%）となっている。

◎ 一方、I R誘致の不安（⑤不安がある、④どちらかといえば不安がある）としては、「継続した施設運営」への不安（138人、49%）が最多で、「自然環境への影響」（124人、44%）、「治安悪化」（115人、40%）、「ギャンブル依存問題」（109人、38%）、「青少年育成への影響」（96人、34%）となっている。

設問7 I Rへの期待や不安、その他のご意見について (自由意見 152人)

<期待などに関する主な意見>

- ◎北海道の観光振興、地域振興の観点で必ず誘致が必要。
- ◎自然環境との共存と保護を十分に考え、北海道経済を発展させる施設を作してほしい。
- ◎積雪寒冷地ならではの北海道型 I R 実現を目指すべき。
- ◎誘致されないことで失われる成長機会が不安。北海道が継続的に発展する道筋を官民一体で知恵を出し進めてほしい。
- ◎依存症について大きく報道されているが、きちんと規制されている I R には関係ないと感じる。
- ◎北海道経済の起爆剤として I R は必要。国内有数の観光資源を有する北海道が日本らしい I R を行うことで地方から日本を元気にする動きにつなげてほしい。
- ◎少子高齢化が進む中、少しでも経済が良くなる可能性があるのなら挑戦してほしい。
- ◎北海道は地域的魅力があってもインパクトに欠ける。 I R ができ大きな希望となる事業運営と施設を期待。
- ◎地域経済のためにも I R が必要。
- ◎北海道経済発展のために必要と考えるが、地域住民のしっかりした意見交換・合意が必須。
- ◎20年30年先を見据えた時大きな期待をする。子供達が未来を見て住むことができるまちづくりを。
- ◎環境をしっかり守る計画を示し道内企業による運営で収益を稼ぐ図式であれば良い。
- ◎自然との調和は必要だが、是非実現してほしい。
- ◎社会的リスクや不安は対策により最小化できると思う。プラスの面に目を向け I R を実現してほしい。
- ◎北海道、苫小牧のために是非誘致してほしい。若い世代がこの街に残るような産業を作っていくのが大人の義務だ。

<不安などに関する主な意見>

- ◎予定地は自然豊かなところ。開発行為はやめてほしい。
- ◎人の不幸を前提とした経済の好循環はあり得ない。
- ◎継続的運営に問題がある可能性が否定できない。
- ◎苫小牧に限らず道内に犯罪が広がらないか不安。
- ◎大型建物施設ばかりで運営コストをペイできるか不安。
- ◎人口減少の中、経済効果1,560億円の見通しの責任はどこがとるのか。
- ◎ I R に人材が確保できても、その影響で他産業の人手不足が懸念される。ウトナイ湖は貴重な財産、自然環境に絶対影響があってはならない。国内で3箇所も設置された場合、北海道が継続できると思えない。
- ◎勇払川学術自然保護区を指定した道の責任は重い。やめるべき。
- ◎刑法で禁じるものを特別な理由づけで誘致するのは断じて許されない。道が前のめりになっていることに抗議する。
- ◎自然環境に不安、賭博のお金でまちづくりをしてほしくない、子供達に誇れる北海道づくりを願う。
- ◎道はどんな課題にも曖昧で他人事の発言、効果もしっかり対応した場合の税収等と言い、いい加減な計画に見える。
- ◎子供の健全育成を考えると I R は不要。
- ◎青少年の教育に良くない、破壊された自然はもとに戻らない。
- ◎誘致し、建設され運営した後どうなるのかイメージがなさすぎて良い面だけアピールされている印象。
- ◎自然豊かな北海道にカジノは似合わない。ギャンブル依存症対策はカジノを作らないのが一番の対策。

<その他>

- ◎反対意見や課題・問題を聞く機会を設けるべき
- ◎反対する方は、どう道内経済を維持発展させるのか意見をいうべき。若い未来ある人達の意見を聞くべき。
- ◎一番誘致する可能性の高い苫小牧市ではもっと詳しい説明、資料が必要。賛成・反対ともに判断しにくい。
- ◎住民投票を行うべきではないか。